

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月9日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3490100397 | | |
| 法人名 | 医療法人 好縁会 | | |
| 事業所名 | グループホームふれあい戸坂山根 | | |
| 所在地 | 広島市東区戸坂山根1丁目1-19 (電話) 082-220-2050 | | |
| 自己評価作成日 | 令和4年9月26日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100397-00&ServiceCd=320&Type=search |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 令和4年11月30日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|------------------------------------|
| 季節ごとの行事を大事にして可能な限り外出行事ができるよう努めている。 |
|------------------------------------|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|---|
| 日常を楽しくと職員はイベントに力を入れ、工夫を凝らして変化ある暮らしを支援している。花見や紅葉狩りには職員の手作り弁当やカレーを温めて食べるなど非日常の雰囲気を楽しむイベントを行っている。テーブル、椅子、入浴設備など個々人の状態に合った調整可能な福祉生活用具で快適な暮らしのケアを行っている。コロナ禍でも施設周りの散歩、玄関前の広い駐車場での外気浴、筋肉の衰えをカバーし残存機能を活かすラジオ体操などで、自分でトイレに行ける自立支援のケアを行っている。生活歴シートで趣味や過去の暮らしを話題にしながら、信頼関係を築き、日常のふとした会話も聞き逃さず、どんなことも否定せず傾聴して人格を尊重するケアを行っている。職員は「あなたがいてくれてよかった」の利用者の言葉を励みに、その人らしい生活の実現にもっと何かできることはないか、工夫はないかと模索しながら日々のケアを行っている。 |
|---|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 法人の理念と「生活づくり10箇条」を基本とし、日々ご利用者の「その人らしい生活」とは何かを考え、実践している。 | 理念を掲示し、定期的に理念の基本である業務課題や部門目標の確認を行い、自立支援に向けた質の高いケアの提供を行っている。個々に合った取り組みを見つけ、その人らしい生活を送る支援、自分でできる期間を継続できる自立支援を共有して実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | コロナ禍である中、ここ数年地域との交流ができていなかった。状況変化に応じてまた日常的に参加していきたい。 | 利用者と町内清掃に参加し、側溝の掃除や落ち葉掃きを行い、地域の一員として交流している。また地域からも玄関まで子供神輿が立ち寄るなど交流を図っている。認知症対応に関する家族の相談、施設見学訪問にも丁寧に対応して地域住民に開かれた施設として交流を図っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 認知症アドバイザーの資格を有する介護支援専門員の下、地域からの相談や見学に来られた方に、誠意を持って対応している。 | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | コロナ禍の影響で対面式での会議を控えている状況であった。事業所からの報告などは文書で開催を行い貴重な意見として取り入れてきた。また対面式での再開ができるよう準備していきたい。 | 現在は、書面で意見聴取する会議であるが、参加者がそれぞれの立場で利用者のことを思い、多くの提案があり、施設のサービス向上の力強い応援団になっている。意見の中に、外出できない利用者に秋を味わってほしいと要望があり、モンブランづくりで秋の味覚を楽しむことができている。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 運営推進会議開催の報告 また市町の福祉課へ出向き事業所の現状や空き室情報など伝え互いに共有する事に努めている。 | 運営推進会議の報告を市に送付して情報提供を常に行っている。また市の研修には毎回職員が参加し、ケアの向上に努めている。地域包括支援センターとは利用相談や情報の交換を行い、日頃よりコミュニケーションを図り協力関係を築く取り組みをしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>研修において、身体拘束をしないケアの重要性について周知徹底している。ご利用者の希望があれば状況を踏まえいつでも外へ出ることができるように環境を整え寄り添うように努めている。</p> | <p>身体拘束をしないケアとしてスピーチロックに注目し、命令口調にならない、感情をコントロールする接遇に取り組んでいる。外へ出たい利用者には可能な限り自由に行動できる個別ケアで対応し、実践ではドライブしたり、施設周りを散歩するなど寄り添うケアで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>法人内また事業所内での虐待防止の研修を開催しており虐待につながる行為は常に何なのか等利用者目線の立場で意見交換を行い防止に努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>現在成年後見制度や日常生活支援事業を学ぶ機会や知識の認識が職員には足りてなく今後研修や勉強会など開催して活用できるようにしていきたい。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>重要事項説明書及び契約者を提示し、契約の締結、解約、改定についても具体的に説明している。入居後もご家族の不安等については、リーダー各担当者を中心に誠意を持って対応している。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>利用者、家族の意見や要望を日常の面会時や電話連絡の際に何うようにしている。また個別の外出や外泊等の要望にも臨機応変に対応している。</p> | <p>面会や外出の規制のある中、家族からの個別外出の要望に応え、散歩、外食などを実際に行っている。寒い季節になると服装の調節の心配が多くなり、室温調節に配慮するとともに服装にもこまめに対応するようにしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>職員と管理者の個別での面談をこまめにできるように試み意見を提案しやすい環境となるように努め個々の意見を反映しやすいように努めている。</p> | <p>日々の業務の中で管理者から積極的に声をかけるようにしている。管理者は職員の要望、提案を否定しないで傾聴し、職員の意見を取り入れるという良い循環が定着しケアの充実につながっている。有休やシフト調整なども職員の要望をできるだけ受け止め、働きやすい職場環境に反映させている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>法人内での評価基準が明確にあり、職員の努力により、給与水準や役職等向上することができるようになっている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>法人内に教育研修部があり職員それぞれの状況に応じた研修が数多く受けられようになっている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>地域包括支援センター、居宅介護支援センター等との連携を密に行い、情報交換等の連携を図っている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>初回面会時には、ご本人の不安や要望を聴くことに重点を置き、またご本人の身体状況の把握し適切なケアに繋げられる様に努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | サービスの利用開始から家族の困っている事や不安、要望をしっかりと聴き取りをおこない信頼関係が構築できるように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 電話や面接等の相談時にはご本人やご家族のニーズを把握し、問題点を整理した上で、その後のサービスの提案を行っている。また画一的にグループホームを勧めるのではなく状況に応じ他のサービスの提案をできるようにしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 「共にある」と言う考えを大切にし一緒に居られる事は一緒にしている。どんな時も相手の立場に立ち寄り添えるよう努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 一度入居されたら在宅へ戻れないという考えをなくし常に家族との関係を大切にし外泊や外出を薦めている。支援が必要であれば協力できる体制を整えている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 利用者の知人・友人の来所時には職員は温かく出迎え、気兼ねなく訪問して頂けるよう努めている。また馴染みの場所への外出時には職員が付き添い対応している。 | 墓参りに職員が同行したり、住んでいた場所の周囲をドライブしたり馴染みの場所に付き添うこともある。キリスト教など信仰している宗教関係者の訪問も受け入れ、関係が途切れないよう支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 食事席やレクリエーションの席の配置等ご利用者の関係に配慮し設定している。職員が間に入りコミュニケーションがスムーズに行え関係づくりが円滑にできるように配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | これまでに事例はないが今後在宅復帰されるご利用者がいれば安心して生活ができるようにフォローできる環境を整えたい。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご利用者の思いを把握するために話やすい環境を作り傾聴している。会話などから要望を把握した上で実現できるように全職員で取り組んでいる。 | 事業所独自のライフストーリーシートで話題作りの情報を収集し、一対一になる入浴、自室などでふと吐露した思いを受け止め、共有し、実現に結びつけている。天風録の書き写しの支援、趣味の編み物の用具の準備など本人らしい充実した暮らしに結び付くよう取り組んでいる。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 各担当者に担当職員を配置し入居時にご家族・ご本人の話を十分に伺い介護計画書に反映できるよう入居後も情報収集を行いながら得た情報は職員全員に周知できるようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 法人内の状態レベルシートを活用しながら心身の状況について職員全員が把握できるようにしている。また身体的・精神的に不安のある方は適切に医療と連携を図り問題解決に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>介護計画作成にあたり初めにご本人・ご家族とカンファレンスを行い可能な限り希望を取り入れた計画を作成している。また専門的立場から個々にあったケアを抽出し合い担当スタッフが中心となり全員が作成に携わるように努めている。</p> | <p>様々な意見の聴取が得られるよう、全員参加で介護計画を作成している。参加できない職員はメモ参加する方法を取り入れている。利用者の残存機能を活かし、現状を踏まえ偏りのない多角的な意見やアイデアの反映でケアの向上に繋がり現状に即した介護計画を作成している。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>利用者の日々の様子はケア記録アプリに記載されており情報共有している。また重要事項等は申し送りノートなどに記載して日々のケアに役立っている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>医療面では医師・看護師・歯科医師などと連携を行い介護現場のケアに活かしている。またその他外部からも助言を貰いながらサービスに反映している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>周辺の医療・消防・警察と連携を図り安全で快適に生活できるようにしている。また近くのタクシー会社や理髪店にも事業所を知って頂いているので緊急時には支援して頂ける関係を構築している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>母体となる医療機関から二週間に一回の訪問診療を行っている。またその間でも急な体調変化には受診や往診対応が迅速に行える体制ができています。</p> | <p>整形外科、眼科、皮膚科など、家族が継続受診を希望する場合は、今までのかかりつけ医の受診を継続してもらい、適切な医療を受けられるように支援している。褥瘡の手当などの訪問診療や往診など、適宜に母体の医療機関から適切な医療を受けられる体制を構築している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 法人内の訪問看護師と連携し、24時間の電話連絡が出来る。急変時には、適切な看護や受診が受けられる体制が出来ている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は医師からの紹介状だけではなく、介護職員が付き添い、日頃の情報や急変時の情報を説明している。また、入院中も面会回数を多くしている。退院時は、管理者が退院時カンファレンスを行い、スムーズな退院につなげている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | グループホームとして終末ケアを行う方針であり、入居時に、ご本人、ご家族から意思を伺っている。主治医の判断で終末期ケアへの移行が必要となった場合は、治療方針、ケアの方針を、ご本人、ご家族、医師を交えて話し合い、終末期ケアへ望んでいる。 | 契約時に終末期の事業所のかかわり方を説明し、利用者、家族の意向も確認している。ターミナル時には採光や音楽などベッド周りの環境を整え、医師を交えた話し合いで方針を共有し家族の意向に添う対応をチームで支援し取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 現在開催を見送っているが、法人内で消防署に協力していただき、救命講習を開催していきたい。法人内の医療、看護より指導、助言を受けている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 年2回行われている避難訓練では、消防署立ち合いの下、初期消火と避難誘導を主体に行っている。防火管理者が日頃より避難経路や防火点検を行い、確認している。また、職員に対しての通報訓練等を防火管理者を中心に行っている。 | 災害時の避難方法、避難経路、夜間対応、地域との協力関係、連絡網など防火管理者が中心になって、日ごろから点検を行い、実地訓練を行っている。3日間の備蓄も保管している。コロナ禍で希薄になっている地域との協力関係を強靱なものにすることが喫緊の検討課題として取り組んでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 言葉かけは十分配慮している。トイレや浴室前にはプライバシーを守る為カーテンを設置し、中が見えないよう配慮している。 | 利用者の言動を否定せず、信頼関係を築きながら言葉かけや接遇に気を付け、誇りを損ねず人格を尊重する対応をしている。トイレ介助など自立度に合わせてプライバシーの確保をしながら見守るように支援している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 出来る限り、本人の思いや希望を引き出すよう努め、可能な限り、ご本人の意思を尊重するよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 外へ出たいご利用者に対しては、散歩やドライブへ出掛けたり、食事の時間もご本人の食べたい時間に出来る限り合わせる等、希望に沿えるよう努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 洋服や靴、化粧道具など、ご本人と買い物へ行き、購入している。朝の整容は環境を設定し、出来ない方は支援している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 個々にあった食事形態を取り入れ、栄養バランスに気を付けている。また行事日には利用者の好み応じた料理を提供できるよう努めている。 | 食器洗い、配膳の手伝い、ジャガイモの皮むきなど利用者の残存能力を活かし、役割を担うことで日々の生活に生き甲斐を持ってもらうように見守っている。刻み食、ミキサー食、ソフト食など利用者にふさわしい形態や四季折々の行事食などで食事が楽しめるように工夫し、配慮し支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 食事、水分は、それぞれのご利用者に合わせて形態で提供している。1日の水分摂取量は1500ccを目標とし、認知症ケアの基本を徹底している。食事量、水分量は個別に記録している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後、必ず口腔ケアを行っている。ご自分で出来ない方は援助している。訪問歯科を利用しており、必要な利用者は往診により、口腔ケアを行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 利用者の状態に応じて、出来る限り紙オムツを使用せず、トイレで排泄出来るよう取り組んでいる。 | 利用者の日常を観察しながら、排せつリズムを把握し、リハビリパンツから布パンツへの移行や残存機能を活かした介護方法で自立支援に取り組んでいる。トイレでの自立排泄をできるだけ継続するために、毎朝ラジオ体操で足腰の筋肉を鍛える取り組みをしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 基本である食事、水分、運動に関して、職員全員が理解し、取り組んでいる。特に運動面では、毎日遊ビリテーションを行い、排便を促す運動を行っている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 最期まで健常に近い入浴が出来るように、環境を整えている。環境設備と職員の介護技術の向上に努めている。入浴のタイミングは柔軟に対応し、入浴を楽しんでいただけるよう努めている。 | 安全な入浴、残存機能を活用する入浴になるよう、滑り止めマットや椅子など浴室環境を整え、さらに、職員は入浴介助の実地研修を行って技術の向上に取り組んでいる。入浴時間や同性介助などを含め、無理強いすることなく利用者に合わせて入浴が楽しいものになるよう配慮している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p> | <p>リビングにソファを多く設置し、 休みたい時に楽な姿勢で休める 環境を整えている。夜間しっか りと休めるように、日中はメリ ハリのある生活が出来るよう心 掛けている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p> | <p>ご利用者の服薬情報をいつも回 覧できるように、一覧にしてフ ァイリングしている。往診時 には、主治医へ日常の様子につ いて報告、相談している。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p> | <p>嗜好品については、ご本人、ご 家族の希望に沿い、提供してい る。掃除、洗濯、料理等役割を 持って生活されている。ご本人 の希望に沿い、外出、ドライブ 等気分転換を随時行っている。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p> | <p>ご本人の希望による買物や外出 は、個別に対応し、急な外出希 望であっても、ドライブや散歩 等に対応している。また、行事 に応じ皆さんで可能な限り外 出し、取り組んでいる。</p> | <p>日常的に施設前の広い駐車場で 外気浴を楽しんだり、家族と一 緒に施設周りを散歩したり、外 食を楽しむ支援をしている。四 季折々には、職員が弁当を作り 、花見や紅葉狩りに出かけ、外 出先でカレーを温めて楽しむこ ともある。利用者の日常に五感 を刺激する外出を取り入れる取 り組みを常に行っている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p> | <p>現在、お金を持っているご利用 者は無く、立替えという形で買 い物をいただいている。要望が あれば、ご本人、ご家族の同意 の下、お金を持つことも可能 である。その際は、金銭管理帳 を作り管理している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1階 A) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>希望により、事務所での電話の取次ぎを行っている。また、対応が難しい方にはオンライン (zoom) での面会も取り入れている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激 (音、光、色、広さ、温度など) がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>共有スペースには、温度計、湿度計を設置し、管理している。食堂、浴室、トイレは清潔を保つよう心掛けている。</p> | <p>コロナ対策を視野に入れ空調と換気で快適な共有空間をつくるよう心掛けている。季節行事の飾りつけを手作りし、壁に飾って季節感を感じてもらえるよう心配りをしている。テーブルや椅子の高低などにも配慮して居心地よく食事やおしゃべり、TVなど楽しむことができるよう配慮している。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>共有スペースには、テーブル席の他、ソファを用意し、一人になれたり、他者と交流出来る場、環境を整えている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>ご本人が、自宅で使っていた慣れ親しんだ家具や品物を持ってきていただき、馴染みの物に囲まれ、安心して生活できるよう配慮している。</p> | <p>趣味の電子ピアノや、仏壇、カープのグッズ、家族の写真、椅子など好みや馴染みのものを身近に置いてもらい、今までと変わらない日常が継続できるよう配慮している。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>居室には表札を付け各共有部のトイレ・浴室など迷われないように大きな文字で認識されやすい様に掲示している。また歩行される利用者の導線を確保して、妨げないように工夫している。</p> | | |

| V アウトカム項目(1階 A) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|---|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 法人の理念と「生活づくり10箇条」を基本とし、日々ご利用者の「その人らしい生活」とは何かを考え、実践している。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | コロナ禍である中、ここ数年地域との交流ができていなかった。状況変化に応じてまた日常的に参加していきたい。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 認知症アドバイザーの資格を有する介護支援専門員の下、地域からの相談や見学に来られた方に、誠意を持って対応している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | コロナ禍の影響で対面式での会議を控えている状況であった。事業所からの報告などは文書で開催を行い貴重な意見として取り入れてきた。また対面式での再開ができるよう準備していきたい。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 運営推進会議開催の報告 また市町の福祉課へ出向き事業所の現状や空き室情報など伝え互いに共有する事に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 研修において、身体拘束をしないケアの重要性について周知徹底している。ご利用者の希望があれば状況を踏まえいつでも外へ出ることができるように環境を整え寄り添うように努めている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 法人内また事業所内での虐待防止の研修を開催しており虐待につながる行為は常に何なのか等利用者目線の立場で意見交換を行い防止に努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 現在成年後見制度や日常生活支援事業を学ぶ機会や知識の認識が職員には足りてなく今後研修や勉強会など開催して活用できるようにしていきたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 重要事項説明書及び契約者を提示し、契約の締結、解約、改定についても具体的に説明している。入居後もご家族の不安等については、リーダー各担当者を中心に誠意を持って対応している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 利用者、家族の意見や要望を日常の面会時や電話連絡の際に何うようになっている。また個別の外出や外泊等の要望にも臨機応変に対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員と管理者の個別での面談をこまめにできるように試み意見を提案しやすい環境となるように努め個々の意見を反映しやすいように努めている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 法人内での評価基準が明確にあり、職員の努力により、給与水準や役職等向上することができるようになっている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 法人内に教育研修部があり職員それぞれの状況に応じた研修が数多く受けられようになっている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 地域包括支援センター、居宅介護支援センター等との連携を密に行い、情報交換等の連携を図っている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 初回面会時には、ご本人の不安や要望を聴くことに重点を置き、またご本人の身体状況の把握し適切なケアに繋げられる様に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | サービスの利用開始から家族の困っている事や不安、要望をしっかりと聴き取りをおこない信頼関係が構築できるように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 電話や面接等の相談時にはご本人やご家族のニーズを把握し、問題点を整理した上で、その後のサービスの提案を行っている。また画一的にグループホームを勧めるのではなく状況に応じ他のサービスの提案をできるようにしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 「共にある」と言う考えを大切に一緒にできる事は一緒にしている。どんな時も相手の立場に立ち寄り添えるよう努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 一度入居されたら在宅へ戻れないという考えをなくし常に家族との関係を大切にし外泊や外出を薦めている。支援が必要であれば協力できる体制を整えている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 利用者の知人・友人の来所時には職員は温かく出迎え、気兼ねなく訪問して頂けるよう努めている。また馴染みの場所への外出時には職員が付き添い対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 食事席やレクリエーションの席の配置等ご利用者の関係に配慮し設定している。職員が間に入りコミュニケーションがスムーズに行え関係づくりが円滑にできるように配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | これまでに事例はないが今後在宅復帰されるご利用者がいれば安心して生活ができるようにフォローできる環境を整えたい。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご利用者の思いを把握するために話やすい環境を作り傾聴している。会話などから要望を把握した上で実現できるように全職員で取り組んでいる。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 各担当者に担当職員を配置し入居時にご家族・ご本人の話を十分に伺い介護計画書に反映できるよう入居後も情報収集を行いながら得た情報は職員全員に周知できるようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 法人内の状態レベルシートを活用しながら心身の状況について職員全員が把握できるようにしている。また身体的・精神的に不安のある方は適切に医療と連携を図り問題解決に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>介護計画作成にあたり初めにご本人・ご家族とカンファレンスを行い可能な限り希望を取り入れた計画を作成している。また専門的立場から個々にあったケアを抽出し合い担当スタッフが中心となり全員が作成に携わるように努めている。</p> | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>利用者の日々の様子はケア記録アプリに記載されており情報共有している。また重要事項等は申し送りノートなどに記載して日々のケアに役立っている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>医療面では医師・看護師・歯科医師などと連携を行い介護現場のケアに活かしている。またその他外部からも助言を貰いながらサービスに反映している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>周辺の医療・消防・警察と連携を図り安全で快適に生活できるようにしている。また近くのタクシー会社や理髪店にも事業所を知って頂いているので緊急時には支援して頂ける関係を構築している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>母体となる医療機関から二週間に一回の訪問診療を行っている。またその間でも急な体調変化には受診や往診対応が迅速に行える体制ができています。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 法人内の訪問看護師と連携し、24時間の電話連絡が出来る。急変時には、適切な看護や受診が受けられる体制が出来ている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は医師からの紹介状だけではなく、介護職員が付き添い、日頃の情報や急変時の情報を説明している。また、入院中も面会回数を多くしている。退院時は、管理者が退院時カンファレンスを行い、スムーズな退院につなげている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | グループホームとして終末ケアを行う方針であり、入居時に、ご本人、ご家族から意思を伺っている。主治医の判断で終末期ケアへの移行が必要となった場合は、治療方針、ケアの方針を、ご本人、ご家族、医師を交えて話し合い、終末期ケアへ望んでいる。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 現在開催を見送っているが、法人内で消防署に協力していただき、救命講習を開催していきたい。法人内の医療、看護より指導、助言を受けている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 年2回行われている避難訓練では、消防署立ち合いの下、初期消火と避難誘導を主体に行っている。防火管理者が日頃より避難経路や防火点検を行い、確認している。また、職員に対しての通報訓練等を防火管理者を中心に行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 言葉かけは十分配慮している。トイレや浴室前にはプライバシーを守る為カーテンを設置し、中が見えないよう配慮している。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 出来る限り、本人の思いや希望を引き出すよう努め、可能な限り、ご本人の意思を尊重するよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 外へ出たいご利用者に対しては、散歩やドライブへ出掛けたり、食事の時間もご本人の食べたい時間に出来る限り合わせる等、希望に沿えるよう努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 洋服や靴、化粧道具など、ご本人と買い物へ行き、購入している。朝の整容は環境を設定し、出来ない方は支援している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 個々にあった食事形態を取り入れ、栄養バランスに気を付けている。また行事日には利用者の好み応じた料理を提供できるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>食事、水分は、それぞれのご利用者に合わせて形態で提供している。1日の水分摂取量は1500ccを目標とし、認知症ケアの基本を徹底している。食事量、水分量は個別に記録している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>毎食後、必ず口腔ケアを行っている。ご自分で出来ない方は援助している。訪問歯科を利用しており、必要な利用者は往診により、口腔ケアを行っている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>利用者の状態に応じて、出来る限り紙オムツを使用せず、トイレで排泄出来るよう取り組んでいる。</p> | | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>基本である食事、水分、運動に関して、職員全員が理解し、取り組んでいる。特に運動面では、毎日遊ビリテーションを行い、排便を促す運動を行っている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>最期まで健常に近い入浴が出来るように、環境を整えている。環境設備と職員の介護技術の向上に努めている。入浴のタイミングは柔軟に対応し、入浴を楽しんでいただけるよう努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>リビングにソファを多く設置し、休みたい時に楽な姿勢で休める環境を整えている。夜間しっかりと休めるように、日中はメリハリのある生活が出来るよう心掛けている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>ご利用者の服薬情報をいつも回覧できるように、一覧にしてファイリングしている。往診時には、主治医へ日常の様子について報告、相談している。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>嗜好品については、ご本人、ご家族の希望に沿い、提供している。掃除、洗濯、料理等役割を持って生活されている。ご本人の希望に沿い、外出、ドライブ等気分転換を随時行っている。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>ご本人の希望による買物や外出は、個別に対応し、急な外出希望であっても、ドライブや散歩等に対応している。また、行事に応じ皆さんで可能な限り外出し、取り組んでいる。</p> | | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>現在、お金を持っているご利用者は無く、立替えという形で買い物をいただいている。要望があれば、ご本人、ご家族の同意の下、お金を持つことも可能である。その際は、金銭管理帳を作り管理している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2階 B) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 希望により、事務所での電話の取次ぎを行っている。また、対応が難しい方にはオンライン (zoom) での面会も取り入れている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激 (音、光、色、広さ、温度など) がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 共有スペースには、温度計、湿度計を設置し、管理している。食堂、浴室、トイレは清潔を保つよう心掛けている。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 共有スペースには、テーブル席の他、ソファを用意し、一人になれたり、他者と交流出来る場、環境を整えている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご本人が、自宅で使っていた慣れ親しんだ家具や品物を持ってきていただき、馴染みの物に囲まれ、安心して生活できるよう配慮している。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居室には表札を付け各共有部のトイレ・浴室など迷われないように大きな文字で認識されやすい様に掲示している。また歩行される利用者の導線を確保して、妨げないように工夫している。 | | |

| V アウトカム項目(二階 B) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|---|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|-----------------------|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい戸坂山根

作成日 令和5年1月5日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---------------------------------|---------------------------------------|--|------------|
| 1 | 2 | 運営推進会議を行った経過を家族に伝えていない。 | 事業所の現状報告を各家族にお伝えし安心と信頼を得る取り組みにしていきたい。 | 運営推進会議の内容を全家族に文書にてお伝えし現事業所の状況報告をしていきたい。 | 都度 |
| 2 | 11 | 運営に関する意見の場が不定期になっており反映にばらつきがある。 | 各職員の意見を可能な限り反映して団結力を高めていきたい。 | 定期的面談や全体会議を定着させ課題に対し個々で周知し従事できるように取り組みたい。 | 半年 |
| 3 | 2 | 地域にあるグループホームとしての認識が薄い。 | 地域での高齢者施設として交流を深めていきたい。 | 地域回覧版や掲示板などを活用させて頂き地域に根づく活動となるよう取り組みたい。 | 一年 |
| 4 | 40 | 毎日の食事配達により栄養は計算されているが似た味で偏りがある。 | 食事は楽しみの一つであり食材や味の変化を少しでも提供できるようにしたい。 | 一週間に一度は手作りの料理が提供でき食事で喜びを感じられるよう取り組みたい。 | 一年 |
| 5 | 52 | 共用空間での各個人の落ち着いた場所に限りがある。 | いつでも皆とゆったりと過ごせる場所を提供していきたい。 | 共用部での配置の見直しや設備の老朽化を改善して安らぎある個人のスペースを保てるよう取り組みたい。 | 一年 |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。